



学校だより

令和8年9月30日
横浜市立南本宿小学校
校長 世古 正樹
No. 582

「創立 50 周年記念『第 50 回 運動会』」

副校長 青島 大受



朝夕の空気に、少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。全国各地では大雨による災害が発生し、多くの方々が被害を受けています。被害を受けられた皆様には、改めて、お見舞い申し上げます。私たちにとって身近な「雨」も、時として大きな力を持ち、人々の生活を脅かすことがあります。自然の恵みと恐ろしさの両面について、考えさせられます。

さて、本校では、子どもたち一人ひとりが「自分には良いところがある」「自分ならできる」と感じられる自己肯定感を育むことを大切にしています。自己肯定感は、さまざまなことに挑戦する意欲や、困難に向き合う力の土台となるものです。そのために、教職員は、日々の教育活動の中で、子どもたちの努力や成長を認め、励ますことを心がけています。授業では、自分の考えを発表して一人ひとりが活躍できるように進めたり、友達と協力して学ぶ機会を多く設けて互いに認め合える場面を増やしたりしています。また、小さな頑張りにも目を向け、評価し、達成感や充実感を味わえるように支援しています。

9月に入り、運動会に向けた練習が始まっています。その練習を見ていると、子どもたちの自己肯定感が少しずつ高まっているのを感じます。先日、ある学年の表現運動（団体演技）の練習を見ていました。最初は動きに自信がなく、周囲の様子をうかがっていた子もいましたが、先生が「昨日より大きく動いているね」「とても動きがいいよ」等と声をかけることで、次第に、自信をもち、笑顔で練習に取り組むようになっていきました。5・6年生を中心とした運動会の係活動では、それぞれの役割をもち、自分のめあてに向かって努力している様子がしっかりと伝わってきて、成就感や達成感を得て自信につながっていくことを期待するばかりです。これからますます本格化する練習の中では、自分が思うような結果が出せずに悔しそうな表情を見せる子もいると思います。その時は、勝負や順位だけを見るのではなく、「最後まで全力でやり切ったこと」や「友達を応援していたこと」等、一人ひとりの頑張りや成長に目を向けるように声かけをしていきます。

また、今年の運動会では、創立 50 周年を意識した工夫を取り入れています。例えば、演技の隊形の中に「50」の文字を表現したり、学校の歴史や伝統を紹介するアナウンスを取り入れたりする等、創立 50 周年への思いを形にしようとしています。

これからも、本校では、子どもたちが自分を大切にし、自信をもって未来へ歩いていけるように支援してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

